



2022年10月  
第13号



## 令和4年上半期のサイバー空間脅威の情勢(全国)

令和4年上半期は、依然として、**ランサムウェアによる感染被害**によって事業活動の停止や遅延など、社会経済活動に大きな影響を及ぼしているほか、サイバー攻撃や不正アクセスによる**情報流出事案の発生**、マルウェア「Emotet（エモテット）」の**新たな感染手口の出現**など、サイバー空間をめぐる脅威は深刻な情勢が続いています。

ランサムウェアとは、感染すると端末等に保存されているデータを暗号化して使用できない状態にした上で、そのデータを復号する対価として金銭を要求するマルウェアです。最近の多くの事例では、データの暗号化のみならず、データを盗んだ上、さらに「対価を支払わなければデータを公開する」などと金銭を要求する二重恐喝（ダブルエクストーション）という手口が多くなっています。

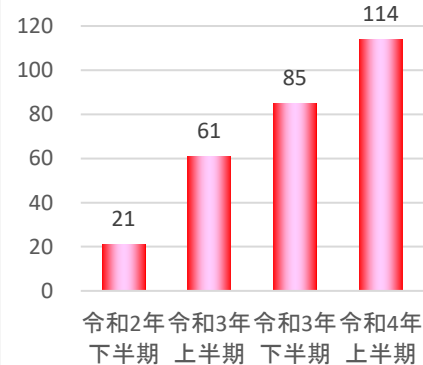
警察に通報のあった、全国の企業や団体等におけるランサムウェアの被害は、令和2年下半期以降、右肩上がり増加しています。

被害の特徴としては、昨年と同じような傾向が続いており、

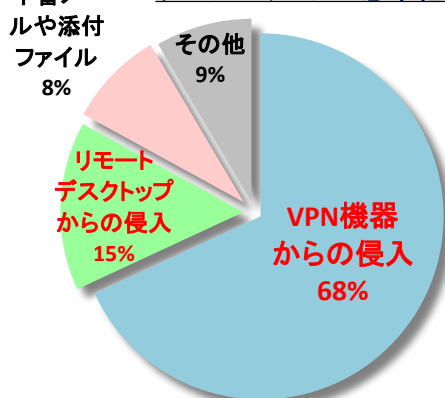
- ・二重恐喝の手口が **65%**
- ・暗号資産による支払い要求が **96%**
- ・大企業や中小企業など、その規模を問わず被害が発生
- ・調査や復旧に要した期間や費用については、  
復旧に1か月以上要したのが **23%**  
1,000万円以上の費用を要したのが **55%**

などとなっています。

(件) ランサムウェアの被害報告件数(全国)



### ランサムウェアの感染経路



依然として、**VPN機器やWindowsのリモートデスクトップ接続の脆弱性を狙って侵入しランサムウェアに感染させる手口**が大半を占めているため、添付ファイルが付いているなどの不審なメールに気を付けるだけではなく、**機器やソフトウェアを常に最新の状態に保つことが重要**となっています。

また、被害企業・団体の**87%**でウイルス対策ソフトを導入していたにもかかわらず、そのうちランサムウェアを検出できたのは**わずか10%**という状況も確認されています。

出展:警察庁広報資料「令和4年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」  
<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/>

常に最新の状態へのアップデートをお願いします!

Twitter



@IP\_cybertaisaku

石川県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課



076-225-0110



cyber@police.pref.ishikawa.lg.jp

Instagram



IP\_cybertaisaku